

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-004

PDCA	事務事業名	文化財保存修理等補助事業	部課等名	教育部 博物館	担当	佐々木	
					内線等	23-7173	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 3. 文化の継承と創造					
		単位施策： (1) 文化財の保存・伝承					
		個別施策： ①文化財の保護					
根拠法令等	文化財保護法、半田市文化財保護条例、半田市文化財保存事業費補助金交付要綱						
対象・目的	指定文化財を対象に、市民の貴重な財産でもある文化財の価値を維持し後世へ継承することを目的とする。						
目的を達成するための手段・活動内容	- 文化財の破損等に対する保存修理や保存施設の整備、伝承事業を補助事業として実施。 - 所有者が実施する事業の経費の一部を補助金として交付する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①文化財保存修理等事業件数		8	9	7	
		②					
		③					
		事業費		19,974	17,986	18,702	千円
		人件費		1,589	1,587	1,874	千円
		総事業費		21,563	19,573	20,576	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
		①文化財保存修理事業費補助金1件あたりコスト		2,695	2,175	2,939	千円
		②					
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①保存修理等補助事業実施件数	実績値	8	9	7	件
			目標値	8	9	7	
		②	実績値				
目標値							
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		文化財を後世へ継承するため、文化財所有者に修理計画を照会したうえで、緊急性、必要性を考慮したヒアリング、現地調査等を実施し、補助事業の採択及び計画的な保存修理を行った。この結果、平成30年度は、山車関係7件への補助を行い、市内文化財の後世への保存・継承を図ることができた。今後も継続的に実施していく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
貴重な市民の財産でもある文化財を保護し、次世代へ保存・継承していくため、修理や環境整備の経費支援に加えて、博物館の専門性を活かした保存管理手法等の指導助言を行いながら、事業を計画的・定量的・持続的に進めていく。							
令和元年度の目標		成果指標			目標値	単位	
		①保存修理等補助事業実施件数			8	件	